8．国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

（単位：円）

Ⅰ　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用	50,644,493,801	
⑵　（控除）自己収入等	△36,136,980,657	
業務費用合計		14,507,513,144
Ⅱ　資本剰余金を減額したコスト等		1,162,234,487
Ⅲ　機会費用		
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	79,974	
政府出資等の機会費用	716,374,721	
無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	14,877,385	731,332,080
Ⅳ　（控除）国庫納付額		—
Ⅴ　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト		16,401,079,711

㈱　機会費用の計上方法

①　国等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

②　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の令和８年３月末利回りを参考に、2.345％で計算しております。

③　国等からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の令和８年３月末利回りを参考に、2.345％で計算しております。

9．収益認識

当法人は、以下に記載する内容を除き、国立大学法人会計基準第77における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

⑴　収益の分解情報

当法人は教育・研究・診療業務及びその他の事業を実施しており、国立大学法人会計基準第77を適用する取引に係る主なサービス等の種類と収益の額は、以下のとおりです。

附属病院の診療による附属病院収益　　28,593,662,749円

⑵　収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

（重要な債務負担行為）

当事業年度内に締結し、その支払いの全部又は一部が翌事業年度以降にわたる契約のうち、重要なものは以下のとおりであります。

（単位：円）

件　　名	契　約　額	翌期以降支払額
総合臨床検査システム	992,098,800	956,666,700
（本町）総合研究棟（臨床系）改修工事	1,090,540,000	249,563,200
（本町）放射線安全総合支援センター研修棟（仮称）新営その他工事	1,203,950,000	1,203,950,000

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

国立大学法人岩手大学令和７事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条の２において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人岩手大学令和７事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

令和８年10月16日

岩手県盛岡市上田三丁目18番８号
国立大学法人岩手大学
学長　山本　欣郎

貸　借　対　照　表

（令和８年３月31日現在）

単位：円

資産の部			負債の部		
Ⅰ　固定資産			Ⅰ　固定負債		
1　有形固定資産			長期繰延補助金等※		298,467,411
土地	38,322,829,783		長期借入金		164,833,316
減損損失累計額	△383,546,400	37,939,283,383	引当金		
建物	28,817,718,645		ＰＣＢ引当金	39,546,358	39,546,358
減価償却累計額	△17,686,653,261		長期未払金		679,406,041
減損損失累計額	△17,947,556	11,113,117,828	資産除去債務		7,045,000
構築物	3,601,374,896		固定負債合計		1,189,298,126
減価償却累計額	△2,693,905,499	907,469,397	Ⅱ　流動負債		
工具器具備品	9,984,865,227		運営費交付金債務※		832,729,920
減価償却累計額	△8,807,792,558	1,177,072,669	預り施設費※		136,435